

税理士試験・司法試験・公認会計士試験の合格者数

	税理士試験	司法試験	公認会計士試験
平成15年	1, 193人	1, 170人	1, 262人
平成16年	1, 090	1, 483	1, 378
平成17年	1, 055	1, 464	1, 308
平成18年	1, 126	1, 558	3, 108
平成19年	1, 014	2, 099	4, 041
平成20年	964	2, 206	3, 625
平成21年	1, 058	2, 135	2, 229
平成22年	999	2, 133	2, 041
平成23年	1, 094	2, 063	1, 511
平成24年	1, 104	2, 102	1, 347

注1：税理士試験の合格者は、平成8年に1,000人を超え、平成15年が最も多い。

注2：司法試験は平成18年から新試験制度を導入、旧司法試験は平成22年で終了

注3：公認会計士試験は平成18年から新試験制度に

注4：公認会計士協会の準会員：8, 817人（平成24年3月31日現在）

<内訳>

①公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者：26人

②会計士補：1, 011人

③会計士補となる資格を有する者：1人

④公認会計士試験合格者：7, 606人

⑤特定社員：173人

このほか公認会計士協会に未加入の会計士補が387人いる。

注5：第10回公認会計士制度に関する懇談会資料「平成23年以降の合格者数のあり方について」

「公認会計士試験については、公認会計士・監査審査会において運用されているところであるが、合格者等の活動領域の拡大が依然として進んでいないことに加え、監査法人による採用が低迷していることに鑑み、平成23年以降、当面の合格者数については、金融庁としては、1, 500人程度から2, 000人程度を目安として運用されることが望ましいものと考える。」